

なぎそ 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和6年 11月臨時会・12月定例会・全員協議会

令和7年（2025年）巳年

明けましておめでとうございます



南木 曾 町議会議長
早川 親利

輝かしい新春をお迎えのこととお祝い申し上げます。

町民の皆様におかれましては、平素から議会に対しまして、温かいご支援とご理解を賜り議員一同感謝申し上げます。

昨年4月には、町長・議会議員の選挙があり、新しく2名の議員も加わり、新しい体制として1年間活動出来ましたこと深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、様々な出来事が思い出されます。能登半島では元日に大きな地震が発生し、追い打ちをかけるように9月には大雨による土石流災害にも見舞われ、地震と併せて大勢の方々がお亡くなりになり、被災されました。心からご冥福をお祈りし、お見舞い申し上げます。今、まだ避難所で暮らしている方々が、温かいお正月を迎えるこ

とができたか心配するところですが、

また、パリで開催された、オリンピック・パラリンピックでの活躍、大谷翔平選手の活躍、佐渡の金山の世界遺産登録、日本被団協によるノーベル平和賞の受賞等、嬉しい出来事もありました。反面、金目当ての闇バイト強盗事件が多発し、怖い思いもしました。国政では、政治家の裏金問題の中で行われた、衆議院議員選挙、ガソリンなどの物価高騰が続いています。今後、私達の生活が楽になりますように暮らせるようお願いいたします。

海外については、ウクライナやイスラエル、シリアでの戦争が早く終結し人々が安心して暮らせる時が来るように祈るばかりです。

本年も、町民の皆様方からご意見やご指導を賜り、より身近な議会活動を目指して努力してまいります。新しい年が、町民の皆様にとって幸せでより良い年になりますよう、議員一同心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

議会だより目次

議長年頭あいさつ 11 P

11月臨時会・12月定例会 12 P

○11月臨時会は、11月28日に開かれました。

12月定例会は、12月13日から12月17日までの5日間の会期で開かれました。また20日に全員協議会が開かれました。

★可決議案一覧 12 P

★一般質問・9人の議員が質問 13 P

★令和6年12月補正予算 18 P

☆木曾広域連合議会報告 20 P

☆松塩筑木曾老人福祉施設

組合議会報告 21 P

★請願・陳情 21 P

☆各委員会報告 22 P

☆全員協議会 23 P

シリーズ「聞いて私の思い」 26 P

広瀬地域振興協議会副会長 志水 弘樹さん

委員会報告

議会のあり方検討委員会

12月定例会より、行政報告と一般質問の内容をケーブルテレビで録画放映することを決定しました。

文責：伊藤寿子委員長

12月定例会

9人の議員が一般質問



- ◆ **藤原 昭次 議員**
 - ・ 第11次南木曾町総合計画
 - ・ 一般質問って？
- ◆ **近藤 隆 議員**
 - ・ 未満児保育のさらなる環境整備を
- ◆ **高橋 進 議員**
 - ・ J R南木曾駅の利用について
- ◆ **山崎 隆二 議員**
 - ・ 事務事業の見直しと財政運営について
- ◆ **山下 航 議員**
 - ・ 町にとって必要な人口の目安を
 - ・ 人口減少を克服できるシナリオも必要
- ◆ **矢澤 和重 議員**
 - ・ 7月9日を防災の日に
- ◆ **坂本 満 議員**
 - ・ 特養老「木曾あすなろ荘」の状況と対応
- ◆ **松原 崇文 議員**
 - ・ 柿其溪谷、田立の滝、天白公園について
- ◆ **伊藤 寿子 議員**
 - ・ デマンドタクシーの現状と課題
 - ・ 未満児の子育て支援

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

第11次南木曾町 総合計画

Q 町政報告会内でも「10年後のめざす町の姿」等ご意見を、と言われませんが、一番最初に所信表明に対し質問したが、町長が目指す具体的なビジョンが職員を含め伝わっていないのでは。

A どんな意見や要望があるのか、まずは耳を傾け聞く姿勢を大事にしながら、また現在の総合計画の施策についても意見や評価をいただくことも大切だと考えます。

意見 町政報告会の内容も薄く感じ、折角良い施策もしているのに伝わっていない。「こういう目標を立て、こうした結果こうなった。」といったことも発信してほしい。

一般質問って？

Q 議員側も行政側もその場しのぎの問答になっているのではと思う。過去8年に限った場合、町の施策に活かされている例があれば具体的に教えていただきたい。

A 議会後、必ず課長会議の中で確認検討がされます。

任期中の思い出せる範囲内では、保育園の統合、出産祝い金の増額、給食費の助成、医療動向のアンケート、医療費のレセプト代補助、補聴器の補助、予防注射の補助拡大、防災対策、消防団員の処遇改善、リニア工事並びにリニア活性化策への要望、鳥獣被害対策や猟友会への支援、農業振興策、耕作条件改善事業の創設、空き家の利活用、観光協会の法人化、ふるさと納税の活用等があります。諸事情でできなかったものもありますが、今後も積極的にご意見をお願いします。

いします。



藤原 昭次 議員

Q 新しい雇用を作り町民負担を減らす行政の協議委員会の設置要望。

Q 過去の質問に対し検討の進捗状況を教えてください。

右の枠内の2つの質問への答弁については文字数制限のため、割愛いたします。

未満児保育のさらなる環境整備を

●未満児の誰でも通園を

Q 南木曾町の出生数は、この10年間で、平成28年の24人をピークに減少し今年度は11人と推定され、今後地域や社会活動の維持が厳しくなることが心配される。

Q なぎそこども園に通園対象となる子どもは満1歳から5歳となっているが、1・2歳児の未満児は、第2子が生まれると第1子の未満児が退園しなくてはならない場合がある。この規定は変えられないか。

A 子ども子育て支援法で保育の利用について条件が定められているため、現状変更は難しいと考えていますが、退園後は、田立園で実施している一時保育やミニ・ファミリーサポート事業を利用するなどの選択肢もあり、相談は個別に応じています。

●ミニ・ファミリーサ

ポート事業の内容と利用状況は。

A 対象は、概ね1歳から12歳で、主な内容は子ども園までの送迎、通院、子どもの預かりなどです。近年では、利用実績はあまりありません。

Q 最近、個人の方がコミュニティカフェをオープンしてサロンや育児ができる場の提供をしている。今後、このミニ・ファミリーサポート事業と共助して新たな保育・育児の場を作れないか。

A コミュニティカフェで行っている事業を確認し、協力できる内容については、より良い方向となるように検討していきます。

●未満児保育料の完全無償化を

Q 現在、国の制度で未満児保育料の一部は無償化となっている。また、少子化対策として未満児保育料を今年度から国の



近藤 隆 議員

制度の対象とならない世帯の負担軽減を図るため長野県と市町村で協力して行っている。年収にもよるが、有償となっている第1子・2子の無償化はできないか。

A 財政状況、保育士の配置等の課題があり、また家庭での育児を希望される方もいますので、総合的に検討します。

意見 町の出生数はこのままいくと1桁になってしまいうことも予想される。子どもがいなくなるといことは、町がなくなることだ。

人口減対策は、一つの施策だけで解決はできないが、未満児が「だれでも通園」できる制度と未満児保育料の完全無償化を実施して保育環境を整えることで少しずつ出生数が増えていくことを願っている。

JR南木曾駅の利用について

●南木曾駅は町民だけでなく、観光客、特に多くの外国の方々も利用する。しかし高い階段があり、大きな荷物を持った人たちが障がいのある人たちは大変苦労している。住民懇談会でも話題に上がり、エレベーターやエスカレーター設置の声が多くあつた。町はリニア事業の協議があるが、JR東海との話し合いに設置の話は話題に上がるか。

A 木曾郡町村会や町でも機会があるたびに話題にしています。しかし一定数の乗降客数がないと設置はできないそうです。木曾町が木曾福島駅に設置したものは1台で2億円程と聞いています。仮に南木曾駅に設置するならば、3台必要で6億円以上となるため財政の目的途をつける必要があります。役員庁舎内にあるような階段昇降機を設置する場合も、利用時の付加価値が必要で、JRの許可が必要となること

とから、現状では難しいと思われれます。
意見 引き続き要望をお願いしたいと思う。

●以前は南木曾駅にて観光バスが接続し、電車受けや送り込みがあつた。しかしいつの間にか大型車が駅に入れなくなり、駅前がさびれた。国道19号の交差点が両方とも改良されたのに、バスが入れなくなったのはなぜか。

A 平成19年から公安委員会より、大型車のすれ違いができないことや通学路であることから規制されたようです。

意見 昼神温泉や木曾路の観光客は中津川駅の利用が多くなった。以前は駅にバスが入ることにより駅前も賑わっていた。駅前の活性化のためにも検討をお願いする。

Q 駅の跨線橋を和合に延長できないか。目の前に駅が見えても和合地区の人たちは遠回りをして駅に行かなければならない。以前あつた、住吉町の踏切も閉鎖された。和



高橋 進 議員

合地区の宅地造成も含めて検討できないか。

A 和合側にも改札の設置が必要になります。また改修についての財源は町の財源となるため難しいと思われれます。

意見 長野駅や名古屋駅は駅舎を通路として利用している。更なる検討をお願いしたい。

Q 駅近くにATMがあれば都合がよい。特に町に不慣れた観光客には必要と思われる。駅構内またはバス発着場への誘致はできないか。

A 金融機関に設置の要望があることをお伝えします。

意見 現金化できることで商店街の売り上げも期待できる。また住民の利便性も高まるのでよろしくお願したい。

事務事業の見直しと
財政運営について

Q 給与所得と基礎控除を合わせて103万円までは非課税となる「103万円の壁」の引き上げについての検討が国で始まった。

A 給与所得者にとって非課税枠が上がり所得も増えるが、小規模自治体にとっては住民税の減収となる。面積が大きく人口が少ない南木曾町にとって減収は深刻な問題なので、9月議会に続いて財政収入増加の施策をうかがう。

の施策を掲げる予定です。

Q 今後財政支出を削減する施策を改めて問う。

A ICTの活用による業務の効率化と人手不足への対応、行政システムの共同化による経費節減、広域連携による事務事業の標準化などです。

A 公共料金の見直し、年間約2500万円のふるさと納税の利用推進、今後年間で約200万円見込まれる基金の運用などです。

町の第11次総合計画では、商工会と協力しての空き店舗改修補助、事業承継と起業支援、空き家への移住、UI住宅の建設と宅地造成、インバウンド観光への対応など

Q 見直すべき事業の一例として、現在までに全

A 事業の妥当性・有効性・効率性の指標で評価し検証している事業は約240事業あります。



山崎 隆二 議員

Q 「税金は行政サービスへの対価」と捉えれば、財政収入が増え、支出が減らないと住民へのサービスも縮小せざるを得なくなってしまう。

A 毎年実施されている事業の中で、一度立ち止って見直すべき業務には何があるか。

Q 昭和52年から平成18年までに宅地や農地の調査は終了し、現在は国の国土調査事業十箇年計画に基づいて実施しています。

A 山林を含む調査の進捗率は県平均の39%、国平均の53%を下回っています。今後は国の国土調査アドバイザーの派遣を申請し、航測法の導入が可能なかどうか検討します。

町にとって必要
な人口の目安を

Q 今後、南木曾町にとって適切であろう人口を割り出して、それを人口目標にしてみてもいいか？

A 何を基準にするかは、かなりの議論が必要となります。南木曾町の将来を担う人材を育成することが、長期的な視点での地方創生に繋がるという考えから、1学年当たり生徒数20人以上を維持できる人口を設定しています。

●住みよい町の人口とは？

意見 これまでの計画では人口減少が目標になっている。例えば、消防団では操法大会に出場できなくなっている町村がある。団員数は減っているが出場していた時と出場できなくなった状況は次元が違う。また、祭りの神輿の担ぎ手が足りていた時と、地域の人に声をかけないと集められなくな

った状況、また、バスの運転手が足りていた頃の総人口、さらに出生数が20人を超えていた頃の人口は一定の目安になる。住民が日常生活に負担を感じない最低の人口目標を検討していただきたい。

人口減少を克服
できるシナリオ
も必要

Q 南木曾町がどういった状況になれば、人口減少に歯止めがかかると考えているのか？

A 日本の総人口が減る中で、人口増に転じることは考えにくく、人口減少の抑制という観点で進めています。

●人口減少に歯止めがかかる可能性は十分ある
意見 住民の皆さんも、町の人口減少対策のためにできることはやろうと思っている。一緒に考える、行動できるための情報を十分に伝えていただきたい。それが協働のまち作りの第一歩だと思



山下 航 議員

う。以前の計画では、創生シナリオ1、2があった。人口減少に歯止めがかかった場合のシナリオも指標として示していただきたい。例えば、30人の従業員が働く企業が10社が必要など。それがわかれば、一念発起して起業してくれる住民や移住者が現れるかもしれない。他にも、(株)サラダコスモ(従業員数約860人 A・P含む)さんのような企業が1社でも興れば、人口減少が克服できるといった指標。「そんなの無理だよ」という声が聞こえてきそうですが、それを起こす施策が創業支援や企業誘致ではなく、南木曾で頑張る意味を持つてもらえるような第11次南木曾町総合計画になるようにお願いしたい。

7月9日を 防災の日

Q 7月9日の梨子沢の災害から10年が経過した。今後は町として何か考えているのか。

A 防災の日として住民の災害に対する認識を深める日としてはどうか。

Q 町独自の防災の日については、7月9日も、一つの案を含めて現在検討しています。

Q 近年地震災害等の自然災害が増えている。それによって町の防災の業務も増えている。安心安全な町づくりのために防災の業務の強化が必要と思う。

A 町の部局に危機管理室を作ってはどうか。

Q 小さな自治体なので大きな体制を作るのは難しいです。しかし災害が非常に激化して大きく頻りに起こるようになってきている状況を考えると、体制強化も一つの大きな

検討課題になっていきます。具体的にどのようなしていくか今後検討していきたいと思えます。



リニアによる 地域貢献を

Q 蘭の町政報告会でも発言があったが、これからリニア工事が本格的に始まりトラックが690台通るようになる。

A 「トラックが通るだけで何も地域貢献が無い」と言う声を聞く。蘭地域振興協議会が要望した、田立電機跡地利用、また皆が心配している押手南ブランドキャニオンの進捗状況は。

Q 現在、旧田立電機で解体工事を行っています。解体工事が終わってから

JRと協議することになっていきます。押手南は、現状を改善することができるよう、町が主体となって進めるべく現在、関係機関と調整中です。



矢澤 和重 議員



特養老「木曾あすなる荘」の状況と対応

再編案では令和9年度末での廃止へ

Q 町政報告会での「木曾あすなる荘」についての説明内容は。

A 松塩筑木曾老人福祉施設組合では、介護職員の不足から「あすなる荘」を含むいくつかの施設で定員を減らしているため収入が減少し、人件費や物価上昇が重なり赤字経営となっています。今年度組合は「あり方検討の有識者会議」を立ち上げ、9月の答申では令和9年度末に施設再編を行い、10施設のうち、老朽化し感染症に弱い施設構造である松本の「四賀福寿荘」と「木曾あすなる荘」の2施設を廃止する提言となっています。

Q 廃止受入れにも聞こえる。「あすなる荘」は無くせないという確固とした町の方針が必要だ。

A 施設の老朽化に加え、福祉施設が各地で飛躍的に増え、介護制度が変わり、平成末期頃から入所率も低下傾向で運営の見直しもされてきました。町は組合に、施設所長としての職員派遣、水道施設などの小規模修理の負担、社会福祉士の職員派遣など行ってきました。将来的に統合廃止の対象とするにしても、セーフティネットであり、規模は縮小しても施設維持と時間的猶予が必要と理事会、所長会議等で訴えてきましたが、組合は有識者会議答申を11月議会に報告しました。正式決定は来年の組合議会で諮られる見込みです。間際に入所者や職員が困らないように、今後の対策を進めるために派遣中の職員の帰任や、庁内の検討部会を立ち上げて関係機関に働きかけるなど対応を始めています。木曾広域連合、大桑村とも相談しながら、早急に木曾南部地域の介護施設のあり方を見出さなければならぬ状況です。



坂本 満 議員

無くしては困る

Q 無くしては困るといのが住民の思いだ。

A 南木曾町は勿論のこと、大桑村を含め木曾南部地域の方々が不安にならないように、町としては誠心誠意尽くし最善の取り組みをしていく、その覚悟です。

意見 現段階では医療も含め地域の介護体制が壊れ、人口減少が加速する方向にしかない。介護制度の根本的な見直しを求めている。同時に、制度の改善を求める声を強く出していきたい。同時に町も組合も、重要なセーフティネット「あすなる荘」の存続を頑張りたい。

国会での政治情勢の変化もあり、制度の改善を求めている。同時に町も組合も、重要なセーフティネット「あすなる荘」の存続を頑張りたい。

柿其溪谷、田立の滝、
天白公園について

●柿其溪谷の維持管理

Q 柿其溪谷の維持管理、宣伝のこれからの進め方について伺う。

A 維持管理については、地元観光協会による遊歩道点検により大規模な修繕が必要なものについては計画を立て、小規模なものは随時修繕を行っています。

宣伝については、町内すべてですが、町観光協会や木曾観光連盟と連携を取りながら、メディアへの取材対応、SNSなどでの情報発信を行っています。また各種イベントの際にパンフレットの配布を行い、PRを行っています。

意見 どの地区の観光協会もそうであるが、町の観光協会との連携が少ないように感じる。ぜひ一体感を持って進めていただきたい。

Q 今、大桑村との間で右岸道路の建設が進められている。開通前から阿寺溪谷と柿其溪谷で連携するような方策を考えてもらいたい。

A 右岸道路開通を見据え今後大桑村と連携を図っていきたいと考えています。

●田立の滝の管理

Q 田立の滝についてはどうか。

A 昨年度に続き今年度も遊歩道修繕を行いました。宣伝については柿其溪谷と同じです。

Q 今年も通行止めの期間が長期にわたった。国有林という難しさもあると思うが、スピード感を持って行う方法はないか。

A 国、県との協議が必要となりますので時間が



松原 崇文 議員

かかることもございます。遊歩道の点検を毎年行い、早期に修繕箇所を確認して、長期通行止めにならないよう努めていきます。

●天白公園の整備

Q 天白公園についてはどうか。

A イベント広場については、森林環境譲与税を活用し遊具設置などの施設整備や危険木伐採などを行い、住民の憩いの場として整備を行っていきます。ミツバツツジ群生地付近の展望台については県の補助金などを活用し、木の伐採など景観整備を行い、桃介橋への眺望を良くしたいと考えています。寄付された土地については、地域の皆さんと協議をしながら活用整備の方向を考えていきます。

デマンドタクシー
の現状と課題

Q バス路線が廃止された与川・柿其地区、上の原・金知屋地区について

も現在デマンドタクシーが運行されている。乗り合いタクシーからデマンドに代わり、前日の午後5時までに予約をすれば自宅から駅周辺まで行けるといふ、住民にとってより便利になり大変良い事業だと思う。しかしバス路線のある保神線は、自宅からバス停までとなっており、また馬籠線については何も無い。現在の利用者の状況は。

A 今年4月から11月までの利用者数は、与川線210人、柿其線99人、田立線134人、蘭広瀬線は0人で合計443人でした。利用者の年齢別集計はできていません。

Q デマンドタクシーのない地域の高齢者から「同じ税金を払っているのに私達は見捨てられるのか」といった厳しい意見もある。高齢者の事故

は多発しているが、交通手段がなければ免許証の返納もままならない。せめて与川・柿其と同じく駅まで行く事ができないか。

A 町の公共交通会議で議論を重ね、要望や実情に合った対応ができるように改正を行い、事業者や協議会にも図りながら模索しているところです。具体的は何をすべきか知恵を出し合って検討していければと思います。

要望 戦略室だけでなく、高齢者の状況を把握している住民課や社協等と横断的な連携を図り、住んで良かったと思える町にしたい。

未満児の子育て支援

Q 議会主催の住民懇談会で、0歳児の預かりについて質問があったが、なぜ預かれないのか。

A 食事の面や保育士の確保、職員の配置、子どもの安全確保等の課題が多いため、現在は行っていません。

Q 第2子出産時の第1



伊藤 寿子 議員

子未満児保育ができないということも含めて、母親の負担は大きい。特に移住者は困っているようだ。教育委員会のファミリーサポート以外にも、社協・なぎそおたすけ隊の子ども預かりがあり、今年6月に何人かの方々が研修会を受講したと聞いている。おたすけ隊なら特に資格がなくてもできる。高齢者のサポートもそうだが、子どもの預かりもしたいという隊員の思いを無駄にしないように、各関係機関と連携しながらこの事業を成立させていきたい。

A おたすけ隊ではマッチングができれば0歳児の預かりも可能。ファミリーサポート事業もサポーターの了解があればできるの、できる限りの調整はしたいと考えています。

補正予算審議概要

令和6年12月補正予算（一般会計・特別会計・事業会計）が審議され、可決されました。補正予算概要を表に示し、審議の主な質疑を掲載します。

総務課

●AI音声の放送
朝の放送でAIが「こんばんは」から始まった。AI音声を入力する方法は。

●担当から出された放送原稿を、パソコンで入力し流しています。AIが判断して発声するわけではなく、AI音声を使っているということ。間違いがないよう確認作業を確実にやっていきます。

もっと元気に戦略室

●神戸地区のテレワーク施設運営事業
Q テレワーク施設は完成したのか。
A テレワーク施設運営事業の移住体験施設の改修工事は継続中

す。

●220万円の補正の内容は。

●補助金が満額配当されず、テレワーク施設の工事は断念して令和7年度に回す予定でしたが、カットされた移住体験施設の補助金分の国庫補助が追加配分されたので、外構工事に充てます。財源的には起債分を減額し、国庫補助金分を増額した補正となります。工期は令和7年2月末です。

●公共交通への対応

●馬籠線増便とデマンドタクシー委託料増額70万円の内容は。
A 馬籠線は4〜6月と10〜11月の平日15時と休日12時・14時の便

を増便しました。すでに対応済みですが、他の予算から支出していた分を補完するため、今回の補正となりました。デマンドタクシーは実績見込みから不足が予想されるためです。

●デマンドタクシーの年齢制限や回数制限は。

●指定地域で登録された方が対象です。回数制限はありません。

●町内でもあまり格差があつてはいけない。福祉タクシー等も含めて今後検討する必要があります。

住民課

●福祉タクシーの検討
Q 福祉タクシーについての検討状況は。

●福祉的観点でのタクシー券については、担当の中で課題を抽出し、担当課の原案を地域公共交通との調整をしながら、事業者と調整・相談をしていく方

向で進めています。

●福祉灯油は

●燃料代が上がり、配達だと1200円ほど掛かる。福祉灯油事業は行うのか。
A 国が住民税非課税世帯に3万円の給付、子ども1人当たり2万円の給付をします。また経済対策の推奨事業があるので、商品券を発行して燃料費にも使えるように検討を始めています。（23P物価高騰対応の項参照）。

●あすなる荘関係

●松塩筑木曾老人福祉施設組合との協議や交渉はこれからが大事だ。今回の人事で、町から派遣していた「あすなる荘」の所長が住民課長になり、対応ができなくなるのでは。
A もともと所長に代わるエリアマネージャー制度があるなかで、町としては組合への協体制を強化する意味で所長を派遣していません。今回時間のないなかでこれからの方向性を探る必要がある。

り、組合にも了解いただいて所長派遣の協定を変更しました。

●町政報告会でも話が出ていたが、今回の人事で住民は対応が後退したと捉えるのでは。
A 決して後退ではなく次に進めるための人事であることを理解していただき、不安のないように取り組んでいきます。

●児童手当事業費増額を74万3千円増額して

令和6年12月補正予算 (12月17日決)
一般会計補正予算
2,787万9千円を増額
総額 41億9,355万円に

●一般会計・特別会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計 (第6号)	27,879	4,193,550
国民健康保険特別会計 (第3号)	3,874	349,802
宅地造成事業特別会計 (第3号)	2,000	90,070
後期高齢者医療特別会計 (第2号)	△ 1,053	86,868

●事業会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
簡易水道事業会計 (第2号)		
資本的収入	10,303	324,757
資本的支出	7,670	390,957
農業集落排水事業会計 (第2号)		
資本的収入	294	81,389
資本的支出	294	63,489
浄化槽市町村整備推進事業会計(第2号)		
資本的収入	11,445	44,150
資本的支出	11,396	61,380

いるのは。

Q 児童手当は10月の改正で所得制限が廃止され、支給対象者が増えたためです。

Q デイサービスの特殊浴槽更新

Q 民生費のデイサービスの浴槽更新事業を見直して来年に設計費を計画しているが、議会でも現場を見学している。

A 一般浴槽の改修ではなく、老朽化した特殊浴槽（機械浴の浴槽）を更新します。町事業として計画しましたが、社会福祉協議会が独自に補助金を活用する方向で交付申請しました。しかし令和6年度に不採択となり、改めてまた町の事業として起こします。1100万円程度の事業費を予定し、改めて町で発注するための設計費として80万円を補正で計上しています。

Q 一般浴槽が手狭であるとの声がある。今

回の特殊浴槽更新を、一般浴槽改善と合わせた計画にできないか。

A 現場を確認した結果、一般浴槽を広くするための面積確保が困難であり、設備の改築も大規模になるため、社協とも協議し実施できないという結論に至りました。

要望 デイサービスに通う方が増える状況で、改築も視野に入れながら考えていただきたい。

建設環境課

● 町道富貴畑線付近の立木伐採は

Q 町道富貴畑線付近で以前から要望のある、危険な枯損木への対応は。

A 現在50本以上ある立木は、今年度中に伐採の予定で、引き続き地権者の方々と協議を進めていきます。

要望 排水対応も望む。

● 大洞地区の支障木伐採

Q 川向大洞周辺の支障木伐採の計画は。

A 場所的に関西電力も支障木伐採を行うという事です。関電が発注業者と話を詰めており、町もそれと併せて発注する考えです。

● 尾又到防犯灯を

Q 尾又の道路崩落災害復旧の際に防犯灯も無くなった。夜に宿場へ行く外国人観光客も少なくない。町で設置できないか。

A 防犯灯に関しては地区の維持管理となります。また他との兼ね合いもありますので十分な検討が必要かと思えます。



防犯灯があった場所

● ゴミ回収カレンダー

Q 年間のゴミ回収予定表の、黒抜き部分の文字が見にくい。

A 不燃の回収などの欄では文字は見にくいところもあり、改善したいと思います。

教育委員会

● 中学校維持管理費

Q 教室の壁の取り払いで増額されたが以前に終了しているはずでは。

A 昨年は1年生の教室の壁の取り払い工事を実施しました。今回は新1年生の1クラスに対応するための工事になります。

Q 30名以上は2クラスのはずでは。

A 30名を2クラスにするると1クラスの人数が少なくなることで、当面30人を超える学級がないこと、講師教員の確保の難しさがありません。学校、保護者とも相談、協議をしながら判断していきます。

● 小中学校児童生徒用タブレット

Q 小中学校児童生徒用タブレットの再設定費用等、57万5千円増額の内容は。

A 各生徒に1台のタブレットを配布していますが、データがタブレット内に残り動作が遅くなる場合があります。その解消に向けた再設定作業になります。

● 学校部活の活躍

Q 蘇南高校のバドミントン部の成績は。

A 今年度はシングルスとダブルスがインターハイへ出場しました。

● 給食費補助の補正は

Q 物価が高騰している。給食費補助は大丈夫か。

A 当初の予算で栄養士が献立を立てています。年度末に若干の変動があると思いますが現時点では計画通りです。

● 「コドモン」の利用

Q コドモンは民間の事業者が開発したソフトでSaaSというシステムの1つだが、使用の内容は。

A 出欠の確認、連絡帳の代わり、こども園での活動の発信、園児台帳の管理に使用しています。契約は1年更新です。

● 民生費負担

Q 児童措置費負担金86万8千円の減額理由は。

A 見込みの20名を下回ったこと、所得360万円未満と以上の人数の変更にあります。

● 街並みの看板整備

Q 街並み環境整備事業の看板整備委託料800万円を工事請負費へ振替えているが。

A 当初は委託料で計上していましたが、設計委託と工事費に分けました。工事費800万円を駐車場や宿場内を中心に設置してあるマップの改修を行います。

す。

【意見】 テレビで木曾町のユニークな看板を放送していた。妻籠宿でも参考にしているだろうか。

● 重伝建保存改修状況
Q 重伝建保存事業で、毎年3棟改修の予定が2棟になったのは。

A 文化庁に3棟申請しましたが、審査で2棟となりました。要因としては、全国で新規の重伝建保存地区が増え、補助金需要が高まっている影響があります。

【要約】 毎年3棟というなかで住民負担が1割から2割に増えた経緯もある。しっかりとやってほしい。

リニア関連

● 減濁水時の対応の流れ

Q リニアの補償に関して、妻籠、向ヶ原、大山高区の3つの水道水源で減濁水した時の

対応は。

A 3施設で減濁水が起きた場合には施設を1つにまとめる本設工事をします。水源は床浪本谷の堰堤から新たに取水し、浄水場も新設して給水する計画です。本設に移るタイミングは、第1段階として妻籠水源が減濁水する場合には予備的措置で蘭方面からの給水で対応します。第2段階として、妻籠が減濁水になれば向ヶ原、大山高区の水源も減濁水の可能性があるため、この時点で予備的措置から本設工事に切り替えます。

Q 予備的措置の工事がほぼ完了する令和7年6月に、JR東海と今後の協議を進めたいと思います。

Q 本設工事に2年かかるという。水道への予備的装置での対応では、間に合わないのでは。トンネル工事を止めないといけないようにも聞こえてしまうが。

A 現在進めている予備的措置は3水源が使えなくなった場合と、本設までの間を対応するという形で進めており、給水ができないからすぐにトンネル工事をストップするという考えではありません。

【意見】 予備的措置の水源の冬季の水量は、3つの水源の量を賄える量の半分ほどしかないという。本設工事をもっと早くやるべきだ。

● 仮設管のリース料

Q 水道水源予備的措置で、令和7年度から11年度の仮設管リース料5140万円は、JR東海の補償になると思うが12年度からはどうなるか。

A 5年間のリース期間には補償を見込んで債務負担としています。リース期間が長引けばJRと協議の上、契約延長となります。また本設の施設は町所有になります。仮設の配管などはリース契約で

す。



接合井（源水の泥をためるタンク）

● リニアと水道審議会
Q 水道についてはリニアの予備的措置や本設工事の課題などがあるが、町の水道審議会

A 町の上下水道審議会は、年に1、2回の開催ですが、その中でリニア関係について説明をし、また委員からの質問にも答えています。

報告 木曾広域連合議会

11月29日に開催された第4回定例会の主な内容は次のとおりです。

- ・大桑村村長選挙、また補欠議員選挙が行われ坂家村長・瀬瀬議員が選出され座席が指定されました。
- 木曾広域連合条例の改正など
- ・人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例
- 令和6年度一般会計補正予算（第3号）
779万円を増額し、32億6,962万4千円となりました。
人事院勧告に基づく人件費の増が主な内容です。

- 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第3号）
125万5千円を増額し、39億7,334万3千円となりました。
人事院勧告に基づく人件費の増です。
- 令和6年度下水道事業会計補正予算（第1号）
17万3千円を減額し、1億1,059万4千円となりました。
人事院勧告に基づく人件費の増です。

全員協議会

- ・旧木曾寮解体について地方債を起債し令和8年度までのスケジュール（案）が示されました。

報告 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

11月21日に開催された11月定例会の主な内容は次のとおりです。議会において「木曾あすなろ荘」を含む再編案が提案されています。

- 令和5年度一般会計歳入歳出決算
歳入合計：43億2,924万9,643円
歳出合計：41億8,667万4,228円
差引額：1億4,257万5,415円
翌年度へ繰り越すべき財源：0円
実質収支額：1億4,257万5,415円
赤字ですが、財政調整基金2億1,029万9,000円を入れているので黒字となります。

- 令和6年度一般会計補正予算 (第1号)
1億4,500万円増額して44億5,900万円となりました。施設見込利用者のサービス収入の見直し及び人事院勧告に伴う人件費増が主な理由です。

全員協議会

- 実施計画について (第六次基本計画期間 (令和7年度~14年度) に係る財政の見通し)

「松塩筑木曾老人福祉施設組合第六次基本計画に係る組合のあり方について(答申)提言書」が、あり方検討の有識者会議から出されました。その中で「老朽化した四賀福寿荘と木曾あすなろ荘の2施設を再編せざるを得ないと結論付ける」と説明されました。これに対する矢澤和重議員の発言要旨を右に示します。

矢澤和重議員の発言

- ①木曾あすなろ荘が再編の対象とされているが、大規模改修計画先延ばしが老朽化の原因と思う。
- ②大規模改修したとしても設計が古く、感染症に弱い施設構造となっています。
- ③第10期介護保険計画で令和9年度から対応できるようにとの提言だが、廃止統合したとすると、町が介護施設空白地帯ともなりかねない。セーフティーネットとしての役割を強調してきた組合としてどう考えるか。
- ④地域全体のセーフティーネットの推進です。セーフティーネットは構成市町村、組合、広域連合等、全体で行っており、組合だけで行っているわけではありません。
- ⑤もし施設を引き継いで運営してくれる事業者があれば、期間内に施設を改修してもらえるのか。あるいは新施設を建てたいと言われた際には、組合で取り壊して更地にするのか。
- ⑥検討し、更地としたい場合には更地にします。
- ⑦利用者・職員・地域へ早急に説明をし、出来るだけ具体的な協議を行って理解を得られるように進めてほしい。誠意ある対応をお願いします。
(注：文中、組合は松塩筑木曾老人福祉施設組合を示す。)

結果 採択

趣旨 国に学校教職員の時給を正しく求めるもの。

提出者 長野県教職員組合 木曾支部 南木曾単組 有賀 康晃

●「持続可能な学校の実現をめざす意見書」採択を求める陳情書

結果 採択

趣旨 国と県に、私立高校への就学支援金制度の拡充などを求めるもの。

提出者 中信地区私学助成推進協議会 会長 中野 潤

●私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書

結果 採択

趣旨 国に女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求めるもの。

提出者 組合会議 議長 西村 正弘

●女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情書

結果 採択

趣旨 全ての医療費助成への減額調整措置を廃止することなどを求めるもの。

提出者 福祉医療給付制度の改善をすすめる会 会長 和田 浩

●福祉医療給付制度を国の制度として確立すること、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情書

結果 採択

趣旨 学校教材備品の安定的かつ計画的な整備の推進を求めるもの。

提出者 日本教材備品協会 会長 大久保 昇

●学校教材備品の計画的な整備促進についてのお願

結果 不採択

趣旨 町営駐車場のバス料金の無料化を求めるもの。

提出者 妻籠観光協会 会長 平田 伊知郎 副会長 嵯峨 理恵子 磯村 奈津子 藤原 昭次

●50年先にも観光客が訪れる町、南木曾の為に町営駐車場のバス料金の無料化を求める陳情書

委員会報告 中津川市議会との合同会議の開催 リニア対策特別委員会

中津川市議会との合同会議

令和6年11月1日に、中津川市議会リニア対策特別委員会との合同会議を今年度も開催し、神坂スマートインターチェンジの現地視察を行いました。

【会議概要】

両市町議会議長と小栗中津川市長の挨拶に続いて、出席者の自己紹介を行い、懇談会に入りました。

(1)両市町の委員会活動状況報告

●南木曾町議会(山崎委員長)

- ・令和6年1月の合同会議以降、南木曾町ではリニア中央新幹線対策協議会(第41~43回)を開催し、工事の進捗状況やリスク削減対策などを協議してきている。対策協議会に先立ち議会のリニア特別委員会を開催し、資料の説明を受けて意見交換と集約を行ってきている。

●中津川市議会(櫛松委員長)

- ・リニアへの電源を供給する中部電力恵那変電所の視察、濃飛横断道・三市一村(郡上・下呂・中津川・東白川村)合同会議や中津川市・恵那市議会リニア関連懇談会などを開催し意見交換してきている。

(2)両市町のリニア関連の動向

●南木曾町(各担当部署)

- ・リニア対策協議会：これまでに43回開催し、住民との情報共有、意見交換、確認書の確認などを行っている。
- ・工事進捗状況：広瀬工区は7月から1.6kmの非常口の工事が始まった。尾越工区は250mの非常口が完了し、本坑の掘削が開催されている。発生土は町内外の置場や公共事業等の活用場所に運搬している。山口工区の本坑は10月に長野県境に到達しさらに掘削中。

に運搬している。山口工区の本坑は10月に長野県境に到達しさらに掘削中。

- ・水道水源予備の措置：妻籠・向ヶ原・大山高区の3水源の接続が完了し、万が一妻籠水源が減濁水した場合には給水可能となった。
- ・リニア開通の道路改良：木曾川右岸道路や、中津川南木曾線などの工事が進められている。
- ・リニア効果を活かすための取り組み：「リニア活用検討委員会」、商工会の「リニア新幹線を活かした地域づくり委員会」が設置され、県の地域振興局では岐阜県駅を活用した「木曾地域リニア活用推進協議会」の設置が検討されている。

●中津川市(各担当部署)

- ・中津川駅以西、岐阜県駅周辺、駒場トンネル、第二木曾川橋梁、瀬戸トンネル、第一木曾川橋梁、中央アルプストンネル山口工区の進捗状況の説明。
- ・開業に向けたまちづくり計画やアクセス道路整備、神坂スマートインターの完成予定図、岐阜県駅周辺の整備計画などの説明。

【現地視察】

中央高速道の神坂インターチェンジで、スマートインターチェンジ工事の進捗状況を視察しました。

- ・神坂インターチェンジの上下線から県道中津川南木曾線に接続するため、盛土で道路を築造しており、工事には南木曾町の尾越工区の発生土の一部が使用されているとの説明。
- ・中央高速道路からスマートインターを利用して馬籠宿や妻籠宿に通じる画期的なアクセスになる。

文責：山崎 隆二委員長

委員会報告 木曾森林管理署との意見交換会 国有林対策特別委員会

令和6年11月28日、木曾森林管理署南木曾支署と現地視察及び意見交換会を行いました。

現地視察は南国有林の鍋割(中の沢)復旧治山工と南沢(キエモン谷)復旧治山工事の2箇所を林道から見る事ができました。山深い国有林内でこのような治山工事によって地域の安全が守られていることを改めて感じたところです。

南木曾支署での意見交換会では、主に令和6年度の事業について説明をいただき、議員から多くの質問等が出され有意義な会となりました。

この日は南木曾岳が初冠雪となった寒いなか、森林管理署の皆さんには現地視察等の対応をいただきありがとうございました。

(主な質疑応答)

Q：伐採した木の枝などの利用状況は。

A：業者が買い取っている。

Q：針葉樹、広葉樹の混交樹林化といった植樹は行っているか。

A：伐採の際に重要な広葉樹を残して植樹をしている(複層林化)。



文責：近藤 隆委員長

議会と町の意見交換

全員協議会

(12月13日・17日・20日審議)

全員協議会とは…

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長の招集により開催し、公開を原則とします。

【検討課題】

住民の安否確認等の上でも、これまで通りの方法がよい区もあり、一律のルールでなく、それぞれの対応でよいのではないかと。また、いづれにしても区長と相談をして結論を出していくこと。

【協議の状況】

- 日常生活に負担が増えるたびにお金を使っているのは知恵がない。
- 印刷代など経費削減のため電子化を進めていくのがいい。
- 多元化（手配り・郵便・ケーブルTV・SNS等）により、住民に情報が行き渡るの歓迎する。
- 配布物をセットできる機械を購入し、役場でセットしたものを区長さんに渡したらどうか。
- 区長手当の加算など、地域に有効にお金が回るように考えてみてはどうか。
- まずは実施して、改善をしていくべきだ。

【説明概要】
区で配布する書類が多く、負担であるとの意見をいただいています。負担軽減を目的に令和7年4月から、全戸配布物については郵便局と連携し各戸へ直接郵送する方法で、改善を図りたいと考えています。回覧分については、従来通りの方法を予定しています。

区長配布について

【検討課題】

駅の近くに防災倉庫を置く必要はあるが、倉庫をそのまま置く場所が仮にあるならば改装工事は必要なのかどうか。また外に置ける倉庫を建物の中に入れる必要があるのか。

【協議の状況】

- 何を備蓄するのか。また夏の気温上昇の際の食料品の管理は大丈夫か。
- 車両を入れた場合の荷重に対する強度は大丈夫か。耐震性は。
- 防犯性があるのがメリットだが、空いたスペースに何を置くのか。
- 備蓄倉庫への出入りは年に何回の予定か。

【説明概要】
町では駅前に防災倉庫等の目的で賃貸借している建物があります。すでに9月補正で外壁工事等に130万円を計上していますが、追加で備蓄品等を保管する倉庫（75万円）、駐車スペース確保のための出入口改修整備（125万円）と計200万円の予算が必要となります。

駅前防災倉庫整備について

【低所得者支援事業】

○低所得者支援については現金給付か。いつまでに支給するのか。

●低所得者支援は全額が国の支援である。進めていただきたい。

【推奨事業】

- 推奨事業の不足の財源は補正予算で組むということか。
- 商品券をコンビニで使える点は良いが、地域経済を助けるという面からは町への還元のメリットが少ないのではないかと。
- 推奨事業はいつまでにやり遂げなくてはいけないのか。
- 地域応援商品券ではコロナ禍の際には恩恵を受けた。給付した商品券はどのように使われたか。商工会では利用率しか把握していないようだ。
- 以前の経済対策について結果のデータがあるといい。
- 商品券には経費がかかるような印刷もあった。余計なコストをかける必要はない。
- 推奨事業は4,100万という大きな金額だ。中長期的に残るような事業を。

【説明概要】
物価高騰対応で、国の経済対策による臨時交付金事業を行う計画です。低所得者支援は住民税非課税世帯へ全額交付金で、推奨事業は、肥料飼料等、福祉医療施設等、地域応援商品券給付などを予定しています。臨時交付金約3750万円の他の財源として、地方交付税の経済対策項目に2100万円程度が追加交付される見込みで、1月に補正予算を計上します。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

**マイナンバーカード
活用による医療費助
成資格確認（PMH）
について**

【説明概要】

マイナ保険証で公費負担医療、医療費助成のオンライン資格確認を行うためのシステム改修を国の先行事業により実施します。

- 素晴らしいシステムだと思う。
- このシステム自体は賛成だが、個人情報等セキュリティの問題が心配だ。情報があれば報告してほしい。
- マイナンバーカードを持っていれば便利であるが、持っていないければ恩恵を被れないというようにも取れる。
- 国の制度として窓口を無償化すれば特にマイナンバーカードを持たなくてもいいのではないか。

実施計画

（令和7年度～令和9年度）

【説明概要】

実施計画は基本計画で掲げる施策を実現するための事業を示すもので、今回は令和7年度～9年度の計を策定しています。

総務課

●重点配分の具体的な事業は

Q 人口減少対策、移住定住対策として重点配分した具体的な事業は。

A 教育文化では小中学校の給食費の補助、給食関係の設備の改善。農林水産業では、農業機器導入支援事業補助金。商工観光では職業支援事業継承補助金。子育て支援事業関係で、親子のひろば子育て応援給付金、乳幼児医療給付、こども園の送迎バス特発運営支援などが入っています。

●地域防災力強化事業を考えてはどうか

Q 携帯電話も使えない状況では、地域単位で区長等を中心とした救護体制が必要となる。区長が替わっても引き繋がれる地域ごとのマニュアルの整備をし、防災体制、救護体制、相互助け合いのコミュニティ作りをする地域防災力強化事業を考えないか。

A 能登半島の地震以来、地震に対する防災減災体制など、地域振興協議会とは災害発生時の対応でしっかりと連携していかなければならぬと考えています。以前も町で地域防災員制度を提案しましたが、定着できていないのが状況です。今後の防災訓練等の中で、地区の住民と町の職員がどんな対応をしたらいいのか確認し合い、マニュアル化できればと考えています。

実施計画は第11次総合計画を具現化するための計画であり、総合

計画の中には地域の防災力を高めていく事業を位置づけたいと思います。

●女性視点の防災や、防災士の活用

Q 防災力を高めるのに防災士の資格がある。ボランティアの話では、女性で指導的な人がいないと、避難所開設時も、男性目線になって大変だという。

A 町と消防団、地区住民、社協などと相談をしながら進めたいと思います。

意見 災害時にはジェンダー平等問題が出やすいと聞く。町の防災の質の向上への尽力を望む。



活動する女性消防団員

●人材育成支援制度を介護も医療も含めて担い手が足りない。町では奨学金返済の支援だけでなく、介護職や大型2種免許取得への支援など、制度の拡充をしないと人材を育成できないのではないかと奨学金やそれに類似した制度への考えは。

A 先生やバスの運転手など各所で人材不足になっており、県でもいろいろな仕組みで人材確保に取り組みでいます。意見を聞かせていただき、町ができることを計画的にやっていきたいと考えます。

●防火水槽の更新
Q 令和7・8年度の防火水槽40tの更新工事はどこか。
A 7年度は広瀬地区を予定し、以降は未定です。

要望 神橋地区の防火水槽の老朽化が進んで漏水している。早急に改修を望む。

●太白公園基本計画
Q 太白公園の基本計画の内容は。

A 寄付を受けた現地測量をして平面図、縦断面等を作成し、地区住民との話し合いを経て検討を進めたいと考えています。

Q ツツジ公園を拡張する場合、ツツジを育ておく必要がある。
A どのようなことができるのか検討します。

意見 三留野地区、町の財産でもある。広い範囲で協議するのも必要だ。

もつと元気に戦略室

●町ホームページの改善
Q ホームページ改良事業の中身は。

A メンテナンスや操作性の改善など、全面的に見直したいと考えています。

●チャレンジナガノ
Q ロジエクト
チャレンジナガノ

プロジェクトで希望があった17社のうち、2社を選んだ理由は。

A (株)ジェクトワンは、空き家の活用で、借り上げ・改修をして企業などに貸す事業をしています。(一社) ネット・コモンズ・ラボは地域おこし協力隊の起業を支援しています。空き家の問題と地域おこし協力隊の定着という課題解決へ、2社の共同作業に期待しています。

住民課

Q 木曾あすなろ荘
「木曾あすなろ荘」対策として新規事業で300万円とある。組合からの打診か。

A 組合の赤字運営に対応していくための備えです。また建物施設や支援の面で、これからどうしていくか協議する必要があります。

Q 業務支援ソフトの課題
障害福祉業務総合支援ソフト審査システム

ムは、事業者が用意したSaaS(サーズ)といったシステムか。

A 障害審査システムでは、申請書類を県に送るときに書類不備があると、審査が一月ほど遅れてしまうケースが多々あります。そうした手間を少なくし審査期間を短くする目的で支援ソフトを入れたいです。システムは外部とは繋がっていません。

意見 支援ソフトは民間業者が作成している。データには個人情報も含まれるため配慮が必要だ。

産業観光課

Q 農業機械等導入支援
事業補助金の創設

Q 新規事業の農業機械導入への支援は、新規購入が対象で、個人所有のトラクターを譲り受ける形での購入は対象外というのをおかしいのではないか。補助金は有効活用すべき

だ。
A 減価償却の関係や価格の付け方等があるためですが、検討する必要がありますかと思えます。

意見 農業を引返し機械の処理に困っている場合、町で買い上げ、町民にレンタルする仕組みは作れないか。

Q 「あかたつ」などの農産物加工所
保健所の審査が厳しくなった問題もある

Q 岩倉村おこし組合
で種芋を保存して指定の畑で耕作しています。漬け物は作っていません。加工所については担い手の問題もあり、実施計画には計上しておらず、今後検討が必要かと思えます。

要望 あかたつ、エゴマ、柿其みその加工所は別々の所にあり、ジャムは伊那谷で加工している。町に6次産

業の拠点を作り、地域おこし協力隊を募集するなど総合的に考える必要がある。

意見 観光協会の管理計画策定

意見 町の観光協会へ毎年1千万円の予算が計上されているが、ほぼ人件費で収益化に繋げるための準備金がない。収益化事業に持っていけるような予算配分がある。

意見 後継者および担い手不足問題が叫ばれるなか、とても良い施策だ。

Q 創業支援・事業継承
事業補助金

Q 森林環境譲与税関係
令和6年度から3千万円ずつ見込んでいるが財政計画のどの項目か。

A 町税の譲与税6340万円に含まれます。

Q 用途はどのようか。
町の森林計画と別にしていないと、本来の整備が

後回しになるのではないか。

A 基金事業と直接森林環境譲与税を充当している事業がありま。事業化にあたっては、これまでの議会や地域からの多くの意見をもとに計画をしており、実施計画に沿って進めていきます。

Q 経済林、非経済林の整備があると思うが、事業費1千万円の具体的な内容は何か。

A 広域への負担金もあります。事業費では、町が森林の所有者から受託している団地の間伐や、下刈りといった費用を見込んでいます。

Q 非経済林についても事業費に入っているか。

A 森林整備の受託箇所は人工林が中心です。非経済林は見回りが主になり、今回の事業費にはありません。広域連合とは譲与税で非経済林を整備できるよう

な仕組みも考えてあり、今後実施する予定です。

要望 個人で管理できない山も地方自治体に委託し、年間千円の税金を原資として守ってくれというのがこの税の趣旨だ。非経済林は見回りにとどまらず景観上、危険なところも含め整備を望む。

Q ライフラインを守るためにも、危険木伐採に計画的に対応できるか。

A 事業費の枠があり要望の全部は難しいですが、危険性を確認しながら対応します。

要望 要望箇所の集約方法を決めて、計画的な対応を求め。

建設環境課

Q 川向の大洞橋
大洞橋の架け替えの予定は。

A 令和10年度以降に計画をしています。

報告 国会議員及び関係機関への要望活動

11月13日から14日にかけて南木曾町議会として、南木曾町の行政に資することを目的に国関係省庁・関係機関への表敬訪問と要望活動を行いました。

13日は、後藤衆議院議員を始め長野県関係議員と国土交通省（道路局・国土保全局・上下水道審議官）への表敬訪問及び要望活動を行いました。

14日は、砂防協会と砂防フロンティアへ表敬訪問。続いて全国治水砂防促進大会に参加し、その中で、最近激甚化する土砂災害の現状について草野砂防部長の特別講演がありました。

今回、改めて要望活動の大切さと土砂災害に対する認識を深めた中央要望活動でした。

文責：松原崇文 議会運営委員長

人口争奪戦

国土の10%未満の五大都市圏に人口の6割以上が集まっている日本ですが、自分の集落も将来的には消滅するのでは危惧している人は多いと思います。先日南木曾中学校3年生が「南木曾町民大会議」を開催した記事を新聞で見ました。子ども達が町の未来を真剣に考え、少しでも離郷防止に繋がればと感じました。生活に便利な所に住みたいと思うのは当然のことです。観光地としては魅力的な町ですが、居住地としては住みにくいことは事実です。しかし、地方がどんどん衰退し農林水産業に従事する人が減れば国内の食料自

聞いて

私の思い



広瀬地域振興協会副会長
志水 弘樹さん

減り続ける人口への対策

給率がますます下がり、海外から兵糧攻めに合えばこの秋の米騒動の様な事態は必至です。ではどうしたら若者が故郷を離れず、また移住する若者が増えるのでしょうか。「消滅不可避」は最悪の事態を想定した場合ですが、まだ打てる手はあると思います。飯綱町では若者住宅の整備で社会増に転じたそうです。今回の議会選挙では若手議員が増えました。我が町や地区・集落を消滅させないための議論を、更に加速させていただきたいものです。

編集後記

新年あけましておめでとうございます
年末には雪が降り、寒さも続いておりませんが、皆さん良い年をお迎えでしょうか。

去年の元日は、いきなりの大きな揺れに本当に驚きました。能登半島の悲惨な状況が伝えられるにつれて不安に思われた方も多かったのではないかと思います。

時を選ばずにやってくる災害には到底太刀打ちはできませんが、一人ひとりの備えと地域のつながりは、これからますます大事になると思います。

田舎は人口減少も進み、それぞれの負担が大きくなってきています。インターネット・SNSや木曾広域ケーブルテレビ放送を活用しながら地域を守っていくのも一つの対策ではないでしょうか。

議会のケーブルテレビ放映も始まりました。より身近な議会に向けて今後とも宜しくお願致します。

議会報編集委員

坂本 満
伊藤 寿子(記)
山下 航
藤原 昭次